

各委員が新年度予算を質す

3月
12~14日

平成30年度の町づくりに使われる一般会計、6つの特別会計を合わせた7会計の各予算について審査する特別委員会を設置して審議した。

委員長に中村忠行委員、副委員長には矢口政一委員を互選し、各委員（委員長を除く）が、厳しい財政事情を反映し、前年度比12.9%の大幅減額となった一般会計予算を含む、総額55億円余りの各予算の重点項目への対応や現状課題への対応を質した。

結果、一般会計予算に須藤典夫委員が反対した以外は、全員賛成で各会計予算を可決した。
（※栗田保則委員は、父他界の為欠席。）



中村忠行 予算特別委員長

小学校統合の 進め方は

高橋 芳夫 委員

問 この度、町内の小学校の統合に關した会議があったようだが、どのような状況であったのか。

答 佐藤教学課長 児童数が減少する中で、今後あるべき教育の姿について懇談会を開催し、多くの意見を頂いた。

行政がリーダーシップを取って進めていくべきとか、統合はやむを得ないと理解はしているが、少しでも長く学校を存続させてほしいといった意見、ある。

いは、あと何年で統合になるのかといった、様々な意見があった。

問 執行部は既に統合ありきで考えていると思うが、例えば3年後に統合するとして、2年前にはこういった状態、1年前にはこういった状態のタイムスケジュールは考えているのか。

答 阿部教育長職務執行者 町の教育の特徴は、子どもと大人が、地域と学校が小さな変化を繰り返している。

田小学校区の方の意見は明安や有屋の方にも聞かせたいと感じた。



伝統を積み重ねる相撲大会

し、共に歩んできたことである。

地域で議論を尽くすことが前提であり、課題解決の近道ではないかと考える。

十分な議論の先に、望ましい解決策が見えてくるのではないかと。

平成31年度には議論を出し尽くしたいと考えている。

その他の質問
● 中小農家に対する支援について
● 町立金山診療所の経営について

定住促進住宅の あり方は

高橋 浩樹 委員

問 財源確保が難しい中で購入した定住促進住宅用地を無理に町の財源だけで開発しなくてもいいのでは。

アーチ型の単身者向け住宅は必要だが、その他の家族向けの住宅用地は、他の自治体でもやっているように、



定住促進住宅用地（十日町）

町は、定住促進住宅の用地として取得しており、現時点で切り売りしていくことは考えていないが、今後の動向も見ながら定住促進住宅のあり方について判断していきたい。

その他の質問

● がん探知犬事業について
● 空き家バンクについて

小学校統合への 話し合いは

沼澤 道也 委員

問 町民の意見は重要だが、今回のような検討会で結論が出てくるのか心配である。

統合問題では教育政策と地域政策を分離し



明安小の中庭を望む

て考えるべきであり、費用面からも今のままで良いか疑問である。

田小学校区の方の意見は明安や有屋の方にも聞かせたいと感じた。

10年前、病院改革のため25人の看護師を16人に削減し、ベッド数も19床にしたが、現在の経営状況はより悪化している。

診療収入の 減少が大きい

早坂 憲明 委員

10年前、病院改革のため25人の看護師を16人に削減し、ベッド数も19床にしたが、現在の経営状況はより悪化している。

外来収入が毎年1000万円も減る中、31年度予算の9167万円はどのような根拠で計上したのか。

また、診療収入が1億円も減少しているがどう捉えているのか。

答

三上 診療所事務長

入院外来の診療収入は、実情に合わせて積算しているが、目標値も入れ込んでいる。



診療所内のキッズスペース